

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 31 日

仕 事 の 内 容	観光マップ作成委託事業					
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係	課長名	小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	3 - 6	-
【施策名】 観光事業の推進	総合計画書 (ページ)	79	

予算名	款 7	商工費	項 1	商工費	目 3	観光費	事業 1	観光推進事業
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	--------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		東大和市観光マップ	→平成29年度作成の東大和市観光マップ
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		新たに情報を更新し、東大和市の魅力をより多くの人に発信する。	→平成30年度作成の東大和市観光マップ
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		平成29年度に作成した東大和市観光マップの情報を精査・更新し発行した。	→観光マップ作成部数

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	種類	1	1	1	/	/
		成果指標	②の数値	種類	1	1	1	/	/
		目 標	②の目標値	種類	/	/	1	1	1
			目標値設定の考え方	情報更新が主な内容であるため、対象物と成果品は常に1種類になる。					
活動指標	③の数値	部	5,000	5,000	10,000	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	785,700	753,840	622,080	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	785,700	753,840		622,080
			特定財源		円	0	0		0
			(うち受益者負担)		円	0	0		0
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	1.0	1.0		1.0
			所要人数(再任用)		人	0.0	0.0		0.0
			職員人件費(再任用以外)		円	8,267,000	8,253,000		8,244,000
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	9,052,700	9,006,840	8,866,080				

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		平成24年4月に組織改正が行われ、産業振興課商工係に観光事業を取り扱う部署が設置されたことに伴い、市内にある観光資源を整理するとともに、市内外に東大和市を広くPRを行うことが明確に示される形となった。緊急雇用創出事業を利用し、市内の観光スポットの調査を行い作成した。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		掲載情報が年々増加し、情報過多の傾向があるため、情報を精査し改編している。

仕 事 の 内 容	観光マップ作成委託事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	市内外から観光マップ送付の希望が寄せられており、好評であったと評価している。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	マンネリ化しないような工夫、また情報発掘の時間の確保が難しい。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	・平成24年度～平成29年度まで取り入れていたマップの仕様を変更し、マンネリ化の改善を図った。			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	・情報の更新にあたり、新規情報の発掘方法が課題である。 ・インバウンド対応を行うことが急務である。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市の刊行物や、市販されている一般的な観光情報資料から、見せ方等を情報収集する。</li> <li>・最新の情報に更新するため、関係課や団体にマップ、付属冊子の校正を依頼する。</li> <li>・多言語化表記を実施する。</li> </ul>			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の更新及び付属冊子の作成にあたり、市民や事業者等の声を取り入れるためのリサーチをするなど、新規情報の発掘方法を改善する。</li> <li>・多言語化表記について、委託業者と調整を図る。</li> </ul>				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。